

“めざそう笑顔のまちづくり”

とんぼんまわると

9月号

令和4年9月1日

発行 NO.184

三本木まちづくり協議会

発行責任者 会長 本田恭子

「地域のことを 地域みんなで考え 地域みんなで解決していくために」

楽しかったね～
ひまわり園まつり



「友達は 一人ひとりが 宝物」

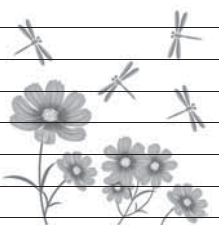
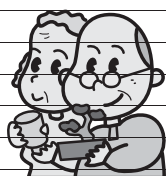
青少年のための大崎市民三本木会議



三本木 9月の予定

※ひま：ひまわり園 支：子育て支援センター 児：児童交流センター
小：三本木小学校 中：三本木中学校 まち協：まちづくり協議会

1	木	まち協役員会
2	金	ひま：避難訓練（水害）
3	土	
4	日	
5	月	中：朝会
6	火	支：すくすくサロン（0）
7	水	小：音楽朝会・放送訓練（地震）
8	木	支：すくすくサロン（1） 中：第1学期期末テスト（～9日）
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	支：子育て講座（子育てワンポイント講座）
15	木	まち協委員会 支：すくすくサロン（2）
16	金	
17	土	ひま：運動会（3・4・5歳）
18	日	
19	月	敬老の日
20	火	ひま：幼部門振替休業日
21	水	ひま：祖父母参観（3・4・5歳）小：秋の交通安全教室 支：なかよし広場（秋のピクニック）
22	木	中：壮行式
23	金	秋分の日
24	土	中：市新人大会（～25日）・3年実力テスト（～25日）
25	日	
26	月	中：振替休業日
27	火	支：おはなし会 中：生徒朝会
28	水	ひま：英語であそぼ（4） 小：お話朝会
29	木	支：のびのび身体測定
30	金	ひま：誕生会 中：振替休業日



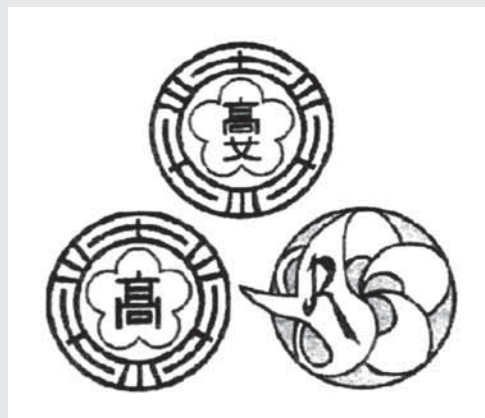
時の針

作：はなす

大人気ない父



旧：古川女子高を卒業された 三本木在住のみなさまへ



「三本木支部交流会」開催のお知らせ

高女・古女・黎明と校名は変わっておりますが、卒業生ならどなたでも大歓迎いたします。

今年はコロナ禍であります。以前から計画しておりました三本木出身で日本女子体育大学の母と言われる「二階堂トクヨ先生」をテーマとした講和を聴きながら楽しいひとときを共に過ごしたいと5年ぶりとなる交流会を企画致しました。

- ◆開催日 10月22日（土）
- ◆時間 午前10時開会
- ◆開催場所 三本木 館山ホール
- ◆講師 二階堂先生を顕彰する会
事務局長 黒木 一 吉氏
- ◆参加費 2,000円（食事とも）
- ◆申込先 二郷 成子 ☎52-2471
佐々木 君江 ☎52-6055

※申込みは10月10日（祝）までお願い致します。

まらり★WAKAMONO II 2021-Vol.13

WAKAMONO達が今、何に夢中になっているのでしょうか。三本木出身のWAKAMONO達、「今一生懸命なこと」「夢中になっていること」活動や仕事、趣味、学び、宝ものなどを自由に書いてもらうという企画です。8月号の桑折地区出身の大学生、遠藤さんからバトンを受け取ったのは、下沖地区出身の高橋さんです。

みなさんこんにちは！下沖地区出身の高橋知希と申します。おかげさまで、気づけば24歳になってしまいました！

今回は、幼少期から今まで続けている野球について、書かせていただきます！

私は物心ついたときには、野球に夢中でした。学校が終われば、すぐに友達と集まり、日が暮れるまで野球をしました。遊びから始まった野球も年を重ねるごとに本気になっていき、私の青春を彩ってくれました。楽しいはずの野球が苦しく感じるときもありましたが、そこで得た経験が社会人になった今、活着していると実感しています。また、野球を通じて出会った友人たちと集まって、しょうもないことで笑える時間はとてもかけがえのないものです。

先月行われた町内野球にも参加させていただきましたが、甲子園に負けず劣らずの熱戦が繰り広げられています。幅広い世代が野球を通じて、汗を流し、白球を追う年に一度の祭典はすばらしいなと改めて感じました。

私は野球を通じて、たくさんの方に出会い、たくさんの思い出ができました。これからも体が動く限り、続けていきたいと思えます！

三本木の皆様、猛暑日が続きますので、どうかご自愛ください。



今も続けている休日の野球風景



中学生から使っているグローブ

三本木公民館からのお知らせ

～二十歳の集い実行委員を募集します～

来年1月に開催予定の三本木地域二十歳の集い(旧成人式)の企画・運営を行う実行委員を募集します。

◆対象

平成14年4月2日から

平成15年4月1日までに生まれた方



《令和5年 三本木地域二十歳の集い》

◆日時 令和5年1月8日(日) 開式13時～

◆場所 三本木総合支所 ふれあいホール

～避難所設営体験に参加しませんか～

防災・減災に関心を持ってもらい、避難所設営体験を通して避難所のあり方について考え学びます。

- ◆日時 10月15日(土)
- ◆場所 三本木公民館大ホール
- ◆対象 小学5・6年生・中学生
- ◆内容 避難所設営体験等
- ◆講師 宮城県松島自然の家
- ◆申込 10月12日(水)まで
電話で申込み



申込・お問合せ 三本木公民館 ☎52-5852

短歌

バス停の役目を兼ねし百日紅
今年限りの彩の深さよ

伊藤 ふみ子

第七波コロナ拡大熱中症

生あるものへ試練なりしか

佐々木 和子

キンランの花に誘われ杉山の
踏み跡たどりひとり通いし

手代木 亮一

まだ青く小さき毬の栗坊主

針やわらかに朝の陽を受く

阿部 郁子

中庭の無花果の実は大きくて

喜びながら友は取りいく

鈴木 真子

俳句

烏瓜花盛りなる無人駅

二本柳 力彌

竿秤つかふ朝市露地トマト

鈴木 勝也

山畑や物置前の蛇の衣

阿部 和子

蚊帳の中姉妹の喧嘩始まりぬ

鈴木 話 袈

残りたる姉妹ふたりや夏の宿

佐藤 邦子



ひまわり園

ひまわり園の畑ではたくさんの大きなじゃがいもが収穫されました。また、0～2歳児の保育参観が3日間に分けて開かれ楽しく過ごしました。夏休み前の最大のイベントは「ひまわり園まつり」でした！アーチや灯籠は子どもたちの作品で彩りました。

5歳児が制作したアイスクリーム・たこ焼き・フライドポテトでお店屋さんをしました。他にもカレーライス屋さん・ヨーヨー屋さん・おやつ屋さんの等のお店がありました。



村上塗装

代表 村上 誠

携帯 080-6045-9913

〒989-6306 大崎市三本木新町二丁目2-7

協賛広告

屋根・外壁の塗装 雨どいの修理 など《見積無料》

地元でがんばる塗装屋です いい仕事しますので! よろしくお願ひします

子育て支援センター



すくすくサロンは「つくってあそぼう」、トンボやおもちゃを作って遊びました。またおはなし会ではひまわり園栄養士の福井先生の楽しいお話しでした。なかよし広場は「七夕会」、彦星さまとおり姫様の顔をペタペタ貼って七夕飾りを作りました。

児童交流センター



児童交流センターの入口によしずを設置、厳しい日差しを和らげてくれています。

七夕飾りには願いを書いた短冊が風に揺れていました。

翌週には子どもたち手作りの「風鈴づくり」をよしずに取り付けました。真夏の日々、爽やかな音を奏でています。

協賛広告

ひまわり交通(株)

(資)共和タクシー

冠婚葬祭・旅行など各種貸切バス

TEL 0229-52-2324

FAX 0229-52-2325

ジャンボタクシー・福祉タクシー

TEL 0229-52-2121

FAX 0229-52-2240

私説 こうして三葉は三本木小のシンボルになった?!

～三葉の友に光あり 三葉の友の夢はるか 三葉の友に栄えあれ～

昭和35年に制定された本校の新校歌（山本正作詞・海鋒義美作曲）の歌詞には、1番から3番のいずれにも「三葉の友」という言葉が使われています。そして、この「三葉」は本校らしさを表すシンボルとして組織や会、行事などの名称をはじめ、「みつばのめあて」のような取組の表題など様々なところに用いられているのです。しかし、この「三葉」が何という草木の葉なのか、どのような由来があるのかについては、これまでのところ確かな記録や証言には出会えていません。

そこで、今回の歴史探索では、「三葉」が本校のシンボルになっていった経緯をわずかに残った歴史の断片から推理し、時代と共に変わってきた三本木小学校の教育観も含めて考察してみたいと思います。

校歌 昭和三十五年制定
山本正作詞
海鋒義美作曲

一、山脈遠く 豊青く
みのり豊かな 大崎の
風香る地を 学舎に
もえる若草 すこやかに
三葉の友に 光あり

二、廣く大地に 根を張って
天に伸びゆく 三本木
学びの道の 行き帰り
手をとりあって 清らかに
三葉の友の 夢はるか

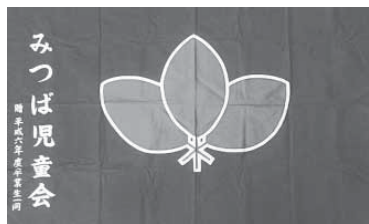
三、館の山辺の 春秋の
幸ゆたかなる 山や川
鳴瀬の流れ 絶えまなく
力たわまぬ いそしみに
三葉の友に 栄えあれ

三本木小学校のシンボルとしての三葉ですから、「三本木という地名が三本の高木に由来すること^{※1}につながりがあるのではないか。」という推論は容易に成り立つでしょう。つまり、三葉とは、やがて大木になるであろう「三本の若木の葉」を表すのではないかというものです。実際、「みつば児童会」の旗（H6年度製作）に描かれているマークが、何らかの樹木の葉をモチーフにしているように見えることから、この推論は的を射たものだと思います。更に、「いまはみつば児童会（今は若木のような子供だけれども）やがてごらんよわたしたち ぐんぐんと根をはり黒土に 大きくなるうよ三本木（故郷に尽くすため、大木のように大きくなりましょう。）^{※2}」という「みつば児童会の歌」の歌詞もこの推論を裏付けているように思えます。

本校には、土井晩翠の作詞と伝わる旧校歌がありました。しかし、敗戦によっていつしか歌われなくなり、昭和35年に新しい校歌が制定されるまでの間は、「みつば児童会の歌」が学校行事をはじめ様々な場面で歌われていたとのこと^{※3}。

戦後、進駐軍と共に入ってきたデモクラシーによって、わが国のあらゆる価値観は180度転換しましたが、教育も例外ではありませんでした。小学校においても民主主義を体験的に学ぶ場として、学級会や児童会がつくられ、「いろいろな問題を討議し解決するために児童全体が積極的に参加する（昭和26年改訂の学習指導要領より一部抜粋）」教育活動が展開されるようになっていたのです。本校でも、当時本校教諭であった伊東あや子先生^{※4}の作詞作曲により「みつば児童会の歌」がつけられていたことを考えれば、児童会をはじめとした民主主義の学習が盛んに行なわれていたと思われます。そして、「みつば」は、新しい児童の姿や新しい教育活動を表すシンボルとして定着し、校歌にも取り入れられるようになったのでしょう。

三本木尋常高等小学校校歌
（作詞は土井晩翠と言われるが、作曲者、制定年月日不明）
ああ 大崎の 大耕土
その一望の御殿森
あやに畏き大君の
眺め給いし古えよ
時は移りて日を追いて
栄えいや増す三本木
町の未来に尽くすべく
吾が小学校の門ひらく
門に朝夕 往きかよひ
山と水との美わしき
里に文化の種をまき
望みゆたけき 若き子よ
里の美風を育つべく
心と身とを 練りきたえ
先に進める よき人の
後にならぬ ああ奮え



みつば児童会の歌
（昭和二十六年制定）
伊東あや子 作詞・作曲

一 いまは みつば児童会
やがてごらんよ わたしたち
ぐんぐんと根をはり 黒土に
大きくなるうよ 三本木

二 いまは みつば児童会
やがてごらんよ ぼくたちは
ぐんぐんと伸びるぞ 青空に
大きくなるうよ 三本木

三 いまは みつば児童会
やがてごらんよ みんなして
ぐんぐんと手を取り 輪になって
大きくなるうよ 三本木

このたび開校150周年を記念して作成した三本木小学校・みつば児童会のキャラクターは、明らかにクローバー（シロツメクサ）をイメージしたものになっています^{※5}。令和の子供たちにとっての「みつば」は、クローバーの葉です。そして、そこに込められた学校の願いは、知・徳・体が調和した人格形成であり、互いに信頼し合い、協力しながら粘り強く頑張る児童の育成なのです。

大木になることを目指す若木の葉から協調の根を張り調和の葉を茂らせる野草へと、「みつば」の形と意味は、時代と共に変わってきました。しかし、そこには、その時代に生きた教員や保護者、そして三本木に生きる人々の大きな期待や希望、願いが込められていたことは確かだと思えます。

三葉の友に栄えあれ！

（文責 高橋）



開校150周年を記念して作成した、三本木小学校・みつば児童会のキャラクター「みつぱん」

（註）※1 三本木という地名の成り立ちについては諸説あるが、「三株駅（さんしゅえき）」とも呼ばれる交通の要路であったこと、そしてそのランドマークでもあった三本の大木に由来することは共通している。三本木町誌には、古くから三株の榎があったことから、伊達綱村公が命名したという説や三本の榎木が鳴瀬川の岸にあったという説、山神の社にそねの木が三本あったという説が記されている。

※2 括弧内は、筆者の独自解釈による加筆。

※3 当時在籍していた卒業生の証言より。

※4 伊東あや子先生は、大正14年（1925年）から昭和34年（1959年）までの34年間、本校一筋にご勤務なされた。当時在籍していた卒業生によれば、現在70歳代以上の三本木住民にとっては、「知らなければモグリ」と言われる存在とのこと。

※5 全児童を対象としたキャラクター原画コンテストで最優秀賞や優秀賞に選出された作品をもとに作成。

【まち協委員会報告】

三本木まちづくり協議会8月の委員会は、コロナ感染への懸念から中止と致しました。8月18日（木）に役員会を行い

検討事項として

- ①SNSを活用したまち協の情報発信について
- ②公園を利用したまちづくり研修会スケジュールについて
- ③新世紀公園クリーン活動について
- ④次回9月のまち協委員会開催について話し合いを行いました。

【移動研修会報告】

三本木まちづくり協議会は、新世紀公園を多世代交流ができ、様々な学びの場となり、誰もが集える「居場所づくり」の構築をめざした活動に取り組んでいます。

8月22日（月）、委員および担当職員8名が参加し岩手県盛岡市への移動研修会を行いました。研修会では盛岡市都市整備部公園みどり課計画係の職員の方から、「公園活性化プラン」について説明いただき、もりおか公園活性化公園広場高松公園チームの細田さんと中央公園チームの太田さんより活動内容や活動に至るまでの過程や良かったこと、今後の課題などお話しいただきました。実際に活動した公園内での研修会だったことから、活発な意見交換ができ大変有意義な研修内容でした。今後、委員会への報告・話し合いを経て新世紀公園「居場所づくり」活動へと活かして行きたいと思えます。



▲高松公園にて▼



▲中央公園にて



まち協委員 コラム

今年の夏の天気には異常気象とも言える現象が頻発しており、日本だけでなく世界中が対応に苦慮している感がします。ヨーロッパでは40℃を超える都市があったり、異常乾燥で大規模な山火事がいたるところで発生しているようです。

日本では観測史上初という気象が頻繁に発生しています。6月に早すぎる梅雨明けがあり、7月に入っては大雨による洪水被害が全国に広がっており、8月になっても前線の停滞や線状降水帯の発生による大雨警報が解除になる気配が見えません。

7月15日の大雨による被害状況は三本木地域では、平成27年9月東北豪雨と比べて家屋の浸水被害は少なかったものの、農作物の冠水・浸水被害は大なるものがあります。

また、今回は用水路やため池の越水や堤体決壊・法面崩壊等100ヶ所を超える被害が報告されています。なかなか水が引かず、一時孤立した地区もあったようです。

9月11日（日）に防災訓練が予定されています。今回は地震を想定した訓練ですが、行政区独自の訓練に洪水対策を組み入れても良いのではないのでしょうか。記憶や体験が新鮮なうちに話し合うのも訓練になると思います。

コロナ第7派の感染拡大が収まる気配がありません。大崎市においても100人を超える感染者が発生した日もあります。三本木の学校でも感染者が散見されています。感染対策にはやはりワクチン接種ではないのでしょうか。副反応の心配は理解できますが、接種後の安心感には代えられないと思います。

By とみけん



三本木地域総合防災訓練のお知らせ

◆日時 9月11日(日) 午前9時より開始
※午前9時に防災無線で「訓練開始」をお知らせします。

今年には地震を想定した訓練を行います。

ハザードマップや災害対応行動表(マイ・タイムライン)の内容を家族などで共有して、ぜひ訓練でも活用しましょう。



お問合せ 地域振興課 ☎52-2111

災害ごみの受入れ延長しました

7月豪雨で発生した災害ごみの処理についてクリーンセンター等で受入れしていますが、下記のとおり延長となります。

8月31日(水) → 9月30日(金)

※すでに発行した一般廃棄物処理手数料減免申請書(有効期限8月31日)は9月30日と読み替えますので、そのままご利用できます。

○災害ごみの処理の詳細については
広報おおさき7月号別冊をご覧ください。



お問合せ 環境保全課 ☎23-6074

ダブリン市への派遣募集のお知らせ

姉妹都市ダブリン市へ高校生を派遣します。
異国の生活や文化を体験してみませんか。



- ◆日時 令和5年3月24日(金)～31日(金)
- ◆派遣先 アメリカ合衆国ジョージア州ダブリン市
- ◆内容 高校生との交流やホームステイ
- ◆対象 大崎市内在住の高校生
- ◆定員 9名程度
- ◆参加費 200,000円程度
- ◆申込み 申込書にて 9月30日(金)まで

三本木地域振興課へ申込

※新型コロナのまん延状況により中止の場合あり

申込・お問合せ 三本木国際交流協会事務局
(地域振興課内) ☎52-2112

移動図書館「きらり号」巡回日程

9月2日(金) / 9月16日(金)

13:40～14:25 三本木支所駐車場

14:50～15:40 南谷地集会所

※悪天候などより中止・変更する場合があります。



お問合せ 大崎市図書館 ☎22-0002

行政相談・人権相談のおしらせ

【行政相談】毎月第1水曜日

9月 7日(水) 9時～12時

【人権相談】毎月第3月曜日

9月20日(火) 9時～12時

◆相談料 無料 ◆会場 総合支所相談室

お問合せ 地域振興課 ☎52-2111



休日・夜間診療案内

休日や夜間に受診可能な休日当番医・歯科医及び夜間急患センター等の情報はこちらから確認ください。

◆電話：宮城県休日当番医情報(大崎医療圏) ☎0229-24-2267(音声案内)

◆携帯電話・スマートフォン：大崎市ホームページ(右のQRコードからアクセスできます。)



三本木地域のミニ統計

令和4年8月1日現在

人口 7,514人(-16)

男 3,770人

女 3,744人

世帯数 2,751戸(-3)

()は前月との比較

ごみ収集カレンダー

(種別)	(回収日)	左記の回収日が祝祭日でも回収します。
もやせるゴミ	毎週(月・木)	
もやせないゴミ・資源物(リサイクル)	第1・第3(火)	
プラスチック製容器包装	第1・第3(火) ※新町、南新町区は月4回(第1～第4)	

三本木まちづくり協議会

〒989-6321 宮城県大崎市三本木字大豆坂2-4-3
三本木総合支所地域振興課内 ☎: 0229-52-2111 FAX: 0229-52-5840

「さんぼんぎねっと」は毎月月初めに発行